

社協だより ONAGAWA

新年明けましておめでとうございます。

社協では「一人ひとりの幸せが地域の支えあいとつながりで実現するまち
おながわ」を目指し、住民の皆様と取り組んでまいりますので本年もよろしくお願ひ
申し上げます。

昨年の11月26日に本会では女川町まちなか交流館を会場に『第14回女川町社会福祉推進大会』を開催しました。

本大会は、永年にわたり本町社会福祉の推進に貢献のあった方々への表彰と、本会活動を見守り応援をして下さった個人と団体への感謝状の贈呈を行い顕彰するものです。

また、数年後に私たちの町が見事に復興した時、ソフト面においても、震災の体験を生かしたお互いを思いやりながら生きることがあたりまえの女川の文化・習慣が根づいた「すばらしいおながわ」と自負できるよう願うものもあります。

特に少子高齢化で社会や家族形態が多様化し他人との関係が薄くなった現在、福祉課題はたくさんありますが、本来、地域社会が持っていた「人と人とのつながり」を大事にしながら、他人を気にかけ、お互いに助け合うという「地域力」を高めることを目指しながら、住民の皆さんと一緒に活動してまいります。



女川町社会福祉推進大会 表彰・感謝状授与

「第14回女川町社会福祉推進大会」の席上で、表彰状・感謝状を贈呈させていただきました皆様を下記のとおりご紹介します。

(敬称略)

◆表彰状

1 民生委員児童委員

竹浦 鈴木 誠喜
浦宿二 三宅 仁子
西一 三浦 知代
針浜 木村 義子
上二 和泉 進一



2 社会福祉団体の役員

浦宿二 島田 信二
大原北 丹野 進
浦宿二 千葉 勝吉
浦宿一 相澤 忠男
石浜東 遠藤 進
浦宿三 勝又たき子

3 本会役員等

女川二 酒井 孝正
上一 高橋 正典

4 社会福祉事業に対し 積極的に協力した方

旭が丘 小豆畑よしみ

5 本会職員

旭が丘 高橋 信二 ・ 女川一 鈴木康太郎

◆感謝状



三重県四日市市 メリノール女子学院聖歌隊
兵庫県西宮市 西宮市中央地区民生児童委員協議会
愛媛県伊予市 松浦 千枝子
愛媛県八幡浜市 川之石の愛をつたえ隊
愛媛県久万高原町 社会福祉法人 久万高原町社会福祉協議会
愛媛県松前町 社会福祉法人 松前町社会福祉協議会
愛媛県松前町 松前町ボランティア連絡協議会
東京都日野市 株式会社 ブリッジ
東京都港区 ジャパンゴルフトゥアーフェスティバル

浦宿一 株式会社 高政
浦宿二 阿部 清一郎
浦宿二 丹野 巍
上四 木村 幸良
上五 木村 正樹
高白 株式会社 御前屋
大菅野 テル子
仙台市 七十七愛の募金会
仙台市 株式会社 仙台水産
北海道苫小牧市 ノース・メディコ 株式会社
栃木県宇都宮市 瑞穂野地区まちづくり協議会
瑞穂野地区社会福祉協議会
栃木県さくら市 社会福祉法人 さくら市社会福祉協議会
長野県南箕輪村 社会福祉法人 南箕輪村社会福祉協議会
岐阜県飛騨市 横山 としお
岐阜県高山市 歌に乾杯! チャリティコンサート実行委員会
平野 嘉世子・山腰 恵子
愛知県あま市 宗教法人 妙勝寺
愛知県あま市 日蓮宗愛知県尾張有志

受賞者の皆さん、誠におめでとうございました。

平成28年度 第1回福祉学習講演会

「ホームを創るホームレス支援～「助けて」と言える社会へ～」

社会福祉協議会が使命としている「地域福祉の推進」。住民の皆さんと共に住みやすい地域を目指す時、必要だと感じるのが『福祉教育（学習）』※です。

今回は、その学習の1回目として、12月12日（月）女川町まちなか交流館を会場に、北九州市でホームレス支援を行っているNPO法人「抱樸」代表理事 奥田知志氏をお招きし、講演会を開催しました。

当日は、町民の方々や行政・県内社会福祉協議会職員の皆さんにもご参加いただき、「人を大切にすること」についてご高話いただきました。

「2016年7月相模原事件」を読み解く

奥田氏の講演の冒頭で触れたのが7月に相模原市にある障害者施設で起きた事件です。

そこで、問題視しているのは、青年が確信的に行動に及んだということです。本来の意味の確信犯とは、「ある信念に基づき、本人が悪いことでないと確信してなされる犯罪」を言います。そのことから青年はそれが悪事だと思わずには及んだものであると言えます。「生きるに値する命」・「生きるに値しなし命」を青年が価値づけをしているということ…。それは、我々が知らず知らずのうちに『生産性』という圧力のなかで生きているということであると奥田氏は語ります。



「人を大切にすること」と「人であることを大切にする」

「人を大切にすること」と「人であることを大切にする」は同じことのように思えますが、実は違います。命を大切にすることは言うまでもありませんが、社会的孤立の進む日本においては、生きるという営みの中でその傍らに「誰が」いるか…が問われ、そしてその存在があるからこそ人は歩みを進められるのだと思います。

講演を終えて

今、私たちが暮らす社会では様々な事件や課題があふれているにもかかわらず、そこに私たちはどれだけ目を向け、危機感を抱いていただろうかと感じます。警鐘が鳴らされる社会をどう変えていくのか、今生きている者の使命を感じました。

※「福祉教育（学習）」：福祉教育には2つの意味合いがあり、1つは学校で子供たちに対し行うカリキュラムとしての教育（学習）、もう1つは、地域住民に対し社会福祉問題を素材とした教育（学習）を指す。

いずれも、学習を通して社会福祉制度・活動への関心と理解を進め、自らの人間形成を図りつつ、社会福祉問題を解決する実践力を身に着けることを目的に行う意図的な活動。

福祉学習講演会第2弾

～教育（共育）は、ふだんの暮らしのしあわせから～

ご近所には、障がい者や支援を受けている人、支援をしている人など子どもから大人まで様々な人が生活しています。一人ひとりがそれぞれの違いを認め、支え合う



ための「ご近所福祉」と地域の福祉力を高める「福祉教育」の繋がりについて、講話等を通して考えていきます。

1. 日時 平成29年1月25日（水）
受付：午後1時 開会：午後1時30分
2. 場所 女川町まちなか交流館ホール
3. 講師：ご近所福祉クリエーター 酒井 保 氏
4. 申込み・問合せ

女川町社会福祉協議会

TEL.0225-53-4333/FAX.0225-53-4336

Mail smile@shakyo-onagawa.or.jp

上記へ、1月18日（水）までお申込みください。

ボランティアセンターだより 1月号

※ボランティアについての各種問い合わせはこちらへ→ 0225-53-4333 (担当:矢竹拓)

傾聴ボランティアの実践研修

11月25日(金)と12月9日(金)の二日間、傾聴ボランティアの育成研修会の一環として、傾聴活動を実際に体験いただきました。

女川町内の傾聴グループ「聴き上手ボランティア」が、月二回のペースで永楽会の特別養護老人ホームに訪問し、入居者とお話しする活動を継続して行って



心が通じると、笑顔が生まれます

サポートのおかげで、次第に打ち解けて傾聴活動の実践を行うことが出来ました。

会話をしているうちに相手に応じた話し方を工夫されたり、言葉でのコミュニケーションを取りづらい方には手遊びや歌を唄ってみたり、実際にチャレンジすることで「関わり方には様々な方法がある」という気づきが生まれていました。

また、たとえ認知症の方とでも、その人となりや好みを知る事で、その人らしく話をしていただけるような傾聴活動が出来ることを聴き上手ボランティアのメンバーの実践の姿から学ぶことが出来ました。

平成28年度の傾聴ボランティア育成研修は最終を迎ますが、傾聴活動を学んでみたい、参加してみたい、という方のご相談には常時応じていますので、お気軽にお申し出ください。

平成28年度 傾聴ボランティア育成研修会(最終回)

※最終回のみの参加も可能です。

日 程: 2017年2月2日(木曜日)

時 間: 午前10:00~12:00

場 所: 女川町地域福祉センター1階会議室

つながって、支え合う地域づくりをボランティアで!

2015年4月に介護保険制度が改正されました。この改正で実は介護予防(要介護にならないための予防)の考え方方が大きく変わりました。これからは誰もが地域で安心して暮らし続けられることが結果的に介護予防になると言われています。すなわち「居場所・支え合い・つながり」といった地域の持つ力が介護予防に非常に有効だということが示されているのです。

電球の取り換えや家具の移動やゴミ出し等、ちょっとした生活支援や隣近所の見守り・触れ合いがあることで、身体が不自由なお年寄りでも末永く暮らし続けられるような地域は誰にとっても暮らしやすい地域だと言えます。

みなさんもぜひボランティアに登録して、地域の支え合い活動にご協力下さい。

佐藤敏郎さんのトーク&ライブ

12月9日(金)
多目的仮設住宅自治会からのリクエストで元女川第一中学校教諭の佐藤敏郎さんのトーク&ライブ「うたって、しゃべって」が行われました。



懐かしい歌で心をひとつに

佐藤さんは女川第一中学校に勤務されていた震災当時、生徒たちの想いを五・七・五に込める俳句づくりの授業を行い、その取り組みは歌集となって書籍化されています。

また、大川小学校のご遺族の方々で「小さな命の意味を考える会」を立ち上げ、命を守るために講演活動に全国を飛び回っておられます。

ご多忙の中ではありましたが、これまで継続して何度も多目的仮設でトーク&ライブを行っておられ、今も二つ返事で駆け付けてくれました。

はじめに、佐藤さんのギターの伴奏で懐かしい歌謡曲や童謡を合唱してから、トークのコーナーでは冒頭に「3.11を無駄にしたくない」という提言が示され、子ども達との数々の「命を守る」取り組みをビデオや写真も交えて紹介してくれました。

それらが実を結び、影響を与え合い、各地に子ども達による防災の取り組みが広がっていったことが、震災で犠牲になった尊い命を無駄にしないことの実践に他ならず、集まった住民の方々の胸にも熱く響いていたようです。

最後に再び全員で合唱して、晴れやかな気持ちでイベントが終わりましたが、子ども達の熱意ある具体的な取り組みに対して、大人はどういうことが出来るのかというメッセージが残されたように思います。

災害時に大切な命が守られる地域のあり方について大人も共に考え、その実現に向けた取り組み・地域づくりを平時から行なうことが必要なのではないでしょうか。

将棋の打ち手ボランティア募集

高齢者施設等で、男性の将棋の相手をしてくれるボランティアを募集しております。



相手の技量に応じて打ち方に配慮が必要となります。将棋がある程度打てる方はぜひ気軽にご応募ください。





うみねこ園だより

セッション♪



10月17日、9月に引き続い
て2回目となる女川小学校3年生
のみなさんとの交流でした。

今回の会場となったのは女川小
学校の音楽室。はじめに、10月
の学芸会で披露したという合唱や
合奏を、利用者さんたちのために
披露してくれました。すばらしい
歌声や演奏に、思わず姿勢を正し
たり、目を潤ませる利用者さんも…。

3年生のみなさんに教えてもら
いながら楽器をさわってみた後、
披露いただいた曲の中から「ミッ
キーマウスマーチ」を一緒に演奏
することに。子供たちの奏でる
メロディに合わせて、同じように
楽器を奏でる利用者さん。聴いて
いる私たちが驚くほど、まとまっ
たセッションとなりました。

帰りの車中では、早くも「また
行きたいね！」と次の交流を楽し
みにする利用者さんたちでした。



健康をつくろう！

11月13日、去年に引き続き町が主催する「健康をつくる町民の
つどい」に参加してきました。

今回は、2つのグループに分かれて活動しました。1つ目はまちなか交流館内のいろいろなコーナーを見て回るグループ。「昔の遊び」のコーナーや、骨密度を測るコーナーなどいろいろなコーナーを見て回ったり、地域の方と交流をしたりして楽しんだようです。

2つ目はウォーキングをするグループ。まちなか交流館と清水の間を往復するという約4kmのコースに挑戦しました。坂道が多く利用者さん達には少々険しいコースでしたが、こちらも地域の方との交流を楽しみながら、それぞれできる範囲で頑張っていました。

ウォーキング終了後は合流し、きらら女川さんでカレーライスやうどんを食べました。おいしい昼食に加えて地域の方と交流もあり、有意義なひとときを過ごした利用者さん達でした。



大根、とったどお！！

11月30日、3名のボランティアさんのお力を借り、今年も大根の収穫を行いました。

前日、てるてる坊主を作ったおかげか当日は絶好の収穫日和！
今年は残念ながら小ぶりの大根が多かったのですが、それでも大根を抜いたり運んだりするのは重労働で、汗を流しながら作業に励みました。

そのためか、午後はとても静かに過ごした利用者さんたちでした…。

農耕作業を主導していただいたボランティアさん、また、当日収穫に際してご協力いただいた3名のボランティアさん、ありがとうございました。



講座開催のご案内！



再掲

おんなのまなび公開講座

お坊さんと一緒に
数珠プレスレッドとお守りつくり

今回は、毎年ご協力いただいている日蓮宗青年会「日青塾」の方々にご指導いただき「数珠プレスレッドとお守りづくり」を開催します。

出来上がった数珠と
お守りは、当日御祈祷
いただきます。

ぜひ、皆さんご参加
いただき、心穏やかな
ひとときをお過ごし
くださいませ。



日 時：1月30日(月)午前10時30分

会 場：女川町まちなか交流館

参 加 費：ほっとすたでえ登録者無料

未登録の方は300円いただきます。

材 料 費：1,000円

申込締切：1月13日（金）

申 込 み：女川町社会福祉協議会

TEL 0225-53-4333

FAX 0225-53-4336

E-mail : smile@shakyo-onagawa.or.jp

皆様の善意に感謝申し上げます。

(11月11日～12月10日受付分)

寄附金（順不同・敬称略）

単位：円

行政 区	氏 名	金 額
一	旭が丘区	5,225
東京都	(株)ブリッジ	25,000
愛媛県	川之石の愛をつたえ隊	20,000
ノ	八幡浜保内赤十字奉仕団川之石分団	5,000
長野県	社会福祉法人 南箕輪村社会福祉協議会	382,379

土日・夜間無料法律相談

法テラスでは、平日に相談が困難な方のため
に土日に無料法律相談を実施します。是非ご利用ください。

住宅ローン、アパートなどの賃貸借、抵当権、
解雇や給与、夫婦や男女間問題、借金の支払、
交通事故など法的トラブルについて弁護士に
相談してみませんか。

土日相談実施日時
1月14日(土)・22日(日) 10時～16時

場所：法テラス東松島

(東松島市矢本字大溜1-1コミュニティセンター西側)

※お住まいの場所に関係なくご利用できます。

※無料法律相談には要件確認がございます。

※上記日時以外にも事務所にて弁護士やその他専門家
相談を行っております。

予約・問合せ先 法テラス東松島

(受付：平日9時～17時／相談：平日10時～16時)

TEL 050-3383-0009

女川町身体障害者福祉協会では只今会員を募集しております。

入会資格は町内に在住の身体障害者手帳をお持ちの方もしくは本会の趣旨に賛同して頂ける方（賛助会員）としており、活動の内容は各種研修会の開催、他市町村協会との交流（スポーツ大会など）のほか、会員の親睦を図る事業などを行っております。年齢は問いませんが、若い人であればなお大歓迎です。

あなたもぜひご入会いただき、「だれもが安心して暮らせる町づくり」のために、共に行動していきませんか。
詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

女川町身体障害者福祉協会事務局（女川町社会福祉協議会内）TEL 0225-53-4333

1月の介護予防「地域遊びリテーション・ふまねっと」

実施内容については地域遊びリテーション [] ・ふまねっと [] となります。

地 区	日 時	地 区	日 時	地 区	日 時	地 区	日 時
大 沢	23日13:30	一小仮設	18日 9:30	運動公園住宅	26日 9:30	旧 三 小	19日 9:30
浦 宿 一	10日13:30	上 三	26日13:30	清 水	10日 9:30	指 ヶ 浜	19日13:30
浦 宿 二	18日13:30	上 四	13日13:30	新 田	お休み	出 島	お休み
浦 宿 三	11日13:30	上 五	18日13:30	日 蔵	17日13:30	バイパス東	13日 9:30
針 浜	16日13:30	西 二	24日14:00	小 乗	16日 9:30	バイパス西	11日 9:30
針浜仮設	お休み	多目的運動場	17日 9:30	宮 ヶ 崎	お休み	蟹 田・内田	23日 9:30
旭 が 丘	お休み	野 球 場	27日 9:30	桐 ヶ 崎	お休み		※1月の会場は蟹田仮設集会所